



毎日の環境が本当に良くなった。  
家にいるだけで気分転換できますよ。



# Come Home Story

ご入居後の  
お宅訪問  
No.014  
カムホームストーリー  
高知市・Yさん家  
竣工:2010年9月  
設計担当:岡本 理絵



## 「最初は家を持つという感覚がありませんでした」

高知市の住宅街に建つYさま邸は、以前Natural Lifeの私的モノ考察のコーナーでご紹介した作家さん「paso a paso」さんのお住まい。住宅雑誌を見るのが好きな旦那さまは、長年自分のマイホームを持ちたいと思い続けてきました。気持ちが進まなかったという奥さまは友人たちが家を建てたことを機に、「もっと広くて子どもたちにもいい環境を」と家づくりを考えはじめました。友人から「かわいい家建ててる」と聞いてタイセイホームを知り、初めての見学会へ。「やりたいことを出すのではなく、これだけは嫌だという点をまず挙げてください」とお客さまサポーターの岡村さんと言われ、自分たちの思いをまとめていきました。「家を建てるならプレハブのような家は嫌だった」と見学会で見た自然素材を使ったタイセイホームの家をすぐに気に入っていただき、Yさまのマイホーム計画がスタートしました。念願叶って手に入れた家事コーナーでは今でもたくさん作品が生まれています。タイセイホームではお店に並んだ奥さまの作品がお客さまをいちばんに迎えています。

## 「家にいるだけで気分転換できます」

以前暮らしていた家のクッションフロアはベタベタとしていていつも拭き掃除をしていたという奥さま。「自然のものじゃないから汚れが取れない気がしてストレスだった」と言います。生きている無垢材はどんな季節でも調湿効果を発揮し、「ジメジメせずベタつかないからラクになりました(笑)」とうれしい笑顔。毎日の環境が本当に良くなったと話す訳は他にもありました。お陽さまの光が降り注ぎ植物が揺れる旦那さまこだわりのウッドデッキ。夏はバーベキュー、冬はストーブを出し季節の鍋を楽しみ、時にはここで朝食を食べることもあると言います。お隣さんとの間に目隠しのウッドフェンスをつくり、人目を気にすることなく自分たちだけの時間を楽しんでいます。「精神的にもイライラせずに家族と接することができます。家にいるだけで気分転換できますよ」と、こだわりの空間がYさまご一家に欠かせない、暮らしの中心となっています。

## 「できるだけたくさん見学会を見たほうがいいですよ」

住んでみてあって良かったと思うところは、広々とした玄関だと言います。最初ももっと広かったところを、旦那さまのアイデアで外側に下屋をつくり自転車置き場に変更。無駄なスペースを効率よく活用させました。「サビなくて自転車が長持ちするし、置き場所を決めているとみんながそれを守ってくれる」と大活躍です。帰ってきた子どもたちの顔が見えるように絶対したかったというリビング階段。階段の横には家族みんなが使うパソコンコーナーもあり、ちょっとした個室になる仕組みです。エアコンの効率をアップさせるため、引き戸で間仕切りもつくりました。ひとつだけ、この引き戸のレールを伸ばし階段とパソコンコーナーの両方をオープンにできるようにしておけば良かったと振り返ります。実際に住んでみてこれから家づくりを考えるご家族に、旦那さまは「見学会をたくさん見ることが大事」だとアドバイス。「例えばココは今後自分たちで…と思ったところでも大きな金額でなければ先にローンの中に組んでおくべき。そのあと住んでしまえば結局やらない(笑)」と奥さま。その後の暮らしを良くするために、できるだけ後悔するポイントをつくらないことだと話します。